

自己点検・評価シート

| | | |
|-------|---------------------|-------------------|
| 整理No. | 1-(2)-② | 平成25年度 第9次鳥取市総合計画 |
| 事務事業名 | 史跡等保護・整備事業（青谷上寺地遺跡） | 所属名 青委員会事務局 文化財課 |

1. 基本情報

| | | | |
|---------------|----------|------|-------------------|
| 位置づけ 総合計画の | 体系区分 | コード | 名称 |
| | まちづくりの目標 | 10 | ふるさとを愛し 次代を担う人づくり |
| | 政策 | 02 | 文化・芸術に親しみ、楽しむ |
| | 施策 | 1202 | 文化財の保存・活用 |

2. 事業目的【PLAN】

| | |
|-----------------------|--|
| 対象 (何を、誰を) | 史跡青谷上寺地遺跡 |
| 意図 (どのような状態にするために) | 史跡青谷上寺地遺跡は現在、約14万5,553㎡の広さがあり、範囲内には市有地、県有地及び私有地が混在しており、史跡内の私有地について県が公有化を進めている。また、平成22年3月には県と共同で「国史跡青谷上寺地遺跡 保存管理計画及び整備活用基本計画」を策定し、将来的な復元建物等の整備を構想しているが、それまでの間は、環境保持と情報発信を進める。 |
| 手段 (どうするのか) | 史跡地内の市有地及び県有地についてはそれぞれが除草・水路管理等を実施するものとし、史跡青谷上寺地遺跡等の情報発信及び体験事業については、県、市及び関係団体で組織する青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会で連携して活動を行い、全国的な知名度アップと来訪者数の増加を目指すものとする。 |

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

| | | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | |
|--------|-----------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|---------|--|
| 内容 | 年度別計画 | 史跡地内の維持管理 | 史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施 | 史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施 | 史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施 | | |
| | 年度別実績 | 史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施 | 史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施 | 史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施 | | | |
| 事業費 | 区分 | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 決算額(千円) | 予算額(千円) | 計画額(千円) | |
| | 事業費(A+B) | 4,293 | 4,180 | 6,124 | 3,264 | | |
| | 直接経費 A | 1,294 | 1,210 | 3,210 | 3,264 | | |
| | 直接経費の財源内訳 | 国・県 | | | | | |
| | | 地方債 | | | | | |
| | | その他 | | | | | |
| 一般財源 | 1,294 | 1,210 | 3,210 | 3,264 | | | |
| 人件費 B | 2,999 | 2,970 | 2,914 | | | | |
| 職員数の内訳 | 正規職員 | 0.40 | 0.40 | 0.40 | | | |
| | 嘱託職員 | 0.00 | | | | | |
| | 臨時職員 | 0.00 | | | | | |

4. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

| | |
|-----------|--|
| 事務事業の実施概要 | <p>1 事業の概要</p> <p>青谷上寺地遺跡は「地下の弥生の博物館」と称される、弥生時代の多種多様な遺物が大量に出土した弥生時代の貴重な遺跡であり、平成20年3月に国史跡に指定された。また、平成22年8月、23年9月、25年10月に追加指定を受けた。遺跡範囲内の公有化により青谷上寺地遺跡公園とし、遺跡保護と景観の管理を行った。また、史跡の保存活用事業の推進のため、鳥取県・鳥取市・関係団体等で組織する「青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会」により、地域及び青谷上寺地遺跡展示館等と連携し遺跡を活用した取り組みを行った。</p> <p>2 事業の成果</p> <p>青谷上寺地遺跡公園及び道路、水路周辺などの除草作業を実施し、周辺の水田・住宅等に影響を及ぼさないよう、遺跡の保護と景観の保全管理を行った。また、青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会で、古代米栽培体験・田んぼアート・キャラクター募集等の発信事業を行った。</p> |
|-----------|--|

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

| | | 指標名 | 単位 | 区分 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|------|---|--------------------------|----|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 活動指標 | 1 | 史跡内の草刈等の環境整備実施回数 | 回 | 目標 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | | | | 実績 | 3 | 4 | 4 | | |
| | | (指標の説明) 史跡内の草刈等の環境整備実施回数 | | | | | | | |
| 活動指標 | 2 | | | 目標 | | | | | |
| | | | | 実績 | | | | | |
| | | (指標の説明) | | | | | | | |

6. 活動指標の達成率【CHECK】

| | | 指標名 | 単位 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|-------|---|------------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 指標達成率 | 1 | 史跡内の草刈等の環境整備実施回数 | 回 | 75% | 100% | 100% | | |
| | 2 | | | | | | | |

7. 評価【CHECK】

| 評価項目と評価の視点 | 評価内容 | 評価理由 |
|------------|--|--|
| 目的の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない | 国史跡青谷上寺地遺跡の保存・保護のための維持管理及び青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会による地域活性化事業を行った。 |
| 事業の有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない | 史跡内の市有地についての除草作業を5月、7月、9月及び3月の4回行い、周辺民家や田への悪影響を防止することができた。 |
| 資源投入の効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない | 除草等作業を地元業者に委託して、効果的かつ効率的な維持管理を行うことができた。また、協議会事務局は県と共同して運営しており、県内外への発信が図れた。 |
| サービスの公平性 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない | 史跡内の市有地については、主にイベント広場・体験広場として活用できる史跡整備が構想されている。 |

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

| | | |
|-------------|---|--|
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 | <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了 |
| 担当課等の評価コメント | 将来的には史跡青谷上寺地遺跡の史跡公園化を目指し、鳥取県と共同して史跡地内の環境保持と公有化を進めるとともに、青谷上寺地遺跡の知名度アップを目指し、青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会で古代米栽培や田んぼアート等を実施している。これらの活動は、年々充実してきている。 | |
| 今後の課題・方向性 | 当面は現状の環境整備・維持管理に努め、史跡の整備・保存・活用の実施設計に向けて検討する。 | |

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 青谷上寺地遺跡は日本を代表する弥生時代の遺跡である。それにも関わらず、本事業では除草が主で、利活用がそれほど進んではいないのが実情である。その大きな原因は、史跡内の私有地にある。史跡の公有化が完全に終わらないと、本遺跡の観光資源として本格的な利活用が望めないのが、県による史跡内私有地の買収をすみやかに進め、史跡をできるだけ早期に公有化して頂きたい。 |
|--------|---|

【石川真澄氏 評価結果】

| | |
|--------|---|
| 評価コメント | 現状は本格的な整備を控え、現状の維持・管理を中心とした段階であるため除草等の環境整備実施回数が指標となっている。一方で、経費の多くが協議会の活動に充てられており、指標と投入資源との関連性のずれがみられる。中長期的なサイクルでの評価が必要な事業と思われる。 |
|--------|---|